



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

株式会社三井住友銀行

トランジションファイナンス・プレイブック 定期レビュー（第1回）

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2024 年 4 月 11 日

Ref. Nr.: PRJN- 513786-2023-AST-JPN-01

目次

I. スコープと目的	3
II. プロジェクト概要	4
III. SMBC の責任と DNV の責任	4
IV. DNV 意見の基礎	4
V. 評価作業	6
VI. 観察結果と DNV の意見	7
スケジュール-1 Enabler としての資金使途特定型トランジションファイナンス適合性評価手順	11

改訂履歴

改訂番号	発行日	主な変更内容
0	2024年4月11日	初版発行

Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct¹ during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

¹ DNV Code of Conduct is available from DNV website (www.DNV.com)

I. スコープと目的

株式会社三井住友銀行（以下、SMBC）は DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、DNV）に「トランジションファイナンス・プレイブック」(以下、プレイブック)に基づき Enabler としてトランジションファイナンス実行後定期レビューを委託しています。DNV の定期レビューの目的は、SMBC が、Enabler として資金調達者に対して実施する CTFH、CTFBG 及び CTFWP や ATFG を参照した適合性評価プロセス(決定プロセス)に基づき個別ファイナンスの実行・管理に必要な GLP、GLGLs 及び他に関連する基準もしくはガイドライン(下表参照)に合致していることを確認するための評価を実施し、このプレイブックに基づくトランジションファイナンスの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

SMBC は 2023 年 4 月にプレイブックを制定しました。DNV は、トランジションファイナンスプレイブック セカンド・パーティ・オピニオン（2023 年 5 月 15 日発行）に続き定期レビュー(第 1 回)を実施しました。

DNV は独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、SMBC とは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

また、この報告書では、個別のトランジションファイナンスの財務的なパフォーマンス、いかなる投融資の価値、あるいは長期の環境便益に関する保証も提供されません。

(1)適用又は参照される基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル ^{*4*5}
1.	クライメート・トランジションファイナンス・ハンドブック(CTFH) ^{*1}	国際資本市場協会(ICMA)、2020	参照
2.	クライメート・トランジションファイナンスに関する基本指針(CTFBG) ^{*1}	金融庁、経済産業省、環境省、2021	参照
3.	NZBA トランジションファイナンス・ガイド(NZBA-TFG)	国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP-FI)、2022	参照
4.	信頼できるトランジションファイナンス白書(CTFWP) ^{*2}	気候ボンドイニシアチブ、2020	参照
5.	グリーンローン原則(GLP) ^{*3}	ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)他、2021	適用
6.	グリーンローンガイドライン(GLGLs) ^{*3}	環境省、2022	適用
7.	アジアトランジションファイナンスガイドライン(ATFG)	ATF スタディグループ、2022	参照

*1 クライメート・トランジション(移行)は、主に発行体(資金調達者)における気候変動関連のコミットメントと実践に関する信頼性(credibility)に着目した概念である。(CTFH、CTFBG より引用)

*2 いくつかの産業別の事例や、組織・プロジェクトレベルでのトランジションファイナンスの考え方を包括的に説明するもので、国際的に幅広く認知された白書

*3 トランジションの 4 要素を満たし、資金用途を特定した債券/ローンとして実行する場合に満たすべき 4 つの核となる要素(調達資金の用途、プロジェクトの評価と選定プロセス、調達資金の管理、レポート)等への適合性を確認するもの。(CTFBG より引用、編集)

*4 参照：SMBC が Enabler として資金調達者のトランジションファイナンスへの取組を評価する際に必要な各原則やガイドラインの要素の適用可能な一部の要求事項に対して適切な適合性評価プロセスを有しているか評価

*5 適用：SMBC が Enabler としてトランジションファイナンスを実行する際に必要な各原則やガイドラインの要素全てに対して適格性を有する又は適格性を判断するための適合性評価プロセスを有していることを評価

II. プロジェクト概要

SMBC は、2023 年 5 月から 2024 年 2 月の間、プレイブックに基づき 18 件をトランジションファイナンス案件として評価、選定しました。

対象プロジェクトは、ガス分野及び電力分野であり、特定の地域に限ったものではありません。また、対象プロジェクトは、プレイブックで分類される、プロジェクトファイナンス（PF）、一般事業用ファイナンス（GCP）^{※1}、資金使途特定型ファイナンス（UoP）です。DNV は、18 件の中から代表的なプロジェクトをサンプリングし、SMBC が Enabler としてプレイブックに基づき適切に評価、選定しているか評価しました。

※1：SMBC が、資金調達者の事業活動に基づくトランジション戦略の実行を 1 つの“プロジェクト”と見なして評価するとしている。

III. SMBC の責任と DNV の責任

SMBC は、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しました。DNV のセカンド・パーティー・オピニオンは、独立した意見を表明するものであり、我々に提供された情報を基に、確立された基準が満たされているかどうかについて SMBC 及びファイナンスの利害関係者に情報提供することを意図しています。その業務において我々は、SMBC から提供された情報、及び事実に依拠しています。

DNV は、この意見表明の中で参照する選定された資産のいかなる側面に対しても責任がなく、また試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って DNV は SMBC の関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータの何れかが正確または完全でなかった場合においても、責任を問われないものとします。

IV. DNV 意見の基礎

DNV は、SMBC にとってより柔軟な Enabler としてのトランジションファイナンス適格性評価手順（以下、「手順」）を適用するために、CTFH、CTFBG、GLP、GLGLs の要求事項や CTFWP、ATFG の考え方を考慮した手順を作成しました。スケジュール-1 を参照してください。この手順は、SMBC が Enabler として実施する CTFH、CTFBG、GLP、GLGLs に基づき、CTFWP、ATFG を参照したトランジションファイナンスに適用可能です。

DNV はこの手順に基づく評価により、独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティー・オピニオンを提供します。

DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的なクライメート・トランジションファイナンスの原則は、以下の通りです。

「クライメート・トランジションファイナンスが透明性と信頼性を持って実行されるために必要な投資の機会を提供する」

DNV の手順に従って、レビュー対象であるこのトランジションファイナンスに対する基準は、CTFH、CTFBG、並びに GLP、GLGLs で示される、それぞれ下記の要素にグループ分けされます。

なお、下記の (1) については、(2) の要素 2 の中で Enabler によって評価されることから、(2) の一部としてレビューを行います。

(1) Enabler としての資金調達者のトランジションファイナンス適合性評価 (CTFH 及び CTFBG の 4 つの共通要素)

DNV は、SMBC が Enabler として資金調達者のトランジションファイナンスへの取組を評価する際に下記の要素について、適切な適合性評価プロセスの実行状況をレビューします。

要素1. 資金調達者のクライメート・トランジション戦略とガバナンス

資金調達の目的は、資金調達者の気候変動戦略の実現を可能にすることが示されるべきです。

要素2. ビジネスモデルにおける環境面のマテリアリティ(重要度)

計画されたクライメート移行経路は資金調達者のビジネスモデルにおける環境面のマテリアリティに関連付けられるべきです。

要素3. 科学的根拠のあるクライメート・トランジション戦略(目標と経路を含む)

資金調達者のクライメート・トランジション戦略は科学的根拠を参照すべきです。

要素4. 実施の透明性

資金調達者のクライメート・トランジション戦略達成のための資金調達を目的とした資金調達方法に関連する市場関係者とのコミュニケーションでは、基礎となる投資計画(投資プログラム)の透明性を提供すべきです。

(2) 資金用途特定型のトランジションファイナンスとして適合性評価 (GLP、GLGLs の 4 つの共通要素)

要素1. 調達資金の用途

調達資金の用途の基準は、資金用途を特定したトランジションファイナンスの Enabler 及び/又は資金調達者を通じトランジションファイナンスにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な環境改善効果を提供するものです。

要素2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス

プロジェクトの評価及び選定の基準は、トランジションファイナンスの Enabler 及び/又は資金調達者が、トランジションファイナンス調達資金を用途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。

要素3. 調達資金の管理

調達資金の管理の基準は、トランジションファイナンスが Enabler 及び/又は資金調達者によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならない、という要求事項によって定められています。

要素4. レポートニング

レポートニングの基準は、資金調達者は Enabler に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

V. 評価作業

DNV の評価作業は、Enabler によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

i. トランジションファイナンス実行前アセスメント

- この評価に資する上述及び本評価のスケジュール-1 に記載されている、Enabler によるトランジションファイナンスへの適用を目的とした Enabler 特有の評価手順の作成。
- このトランジションファイナンスに関して Enabler より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照。
- Enabler との協議及び、関連する文書管理のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成。
- 必要な場合、Enabler が実施する資金調達者のトランジションファイナンス評価結果に対する適合性評価書の作成

ii. トランジションファイナンス実行後アセスメント（今回報告内容）

- Enabler へのインタビュー及び関連する文書管理のレビュー
- 現地調査および検査（必要な場合）
- 発行後の観察結果の文書作成

VI. 観察結果と DNV の意見

DNV の観察結果と意見は以下の通りです。

DNV は、SMBC が Enabler として資金調達者のトランジションファイナンスへの取組を評価する際に下記の要素について、適格性が評価された適合性評価プロセスの実行状況をレビューしました。

(1) 資金使途特定型トランジションファイナンス(TF)の管理に必要な 4 つの要素(GLP、GLGLs 参照) に対する観察結果と DNV の意見

TF-1. 調達資金の使途 :

DNV は、SMBC が策定したプレイブックに基づき 2023 年 5 月から 2024 年 2 月までに 18 件のプロジェクトを選定し、トランジションファイナンスとして資金提供したことを確認しました。

提供した資金は、ガス分野及び電力分野の PF、GCP、UoP のいずれかに該当することを確認しました。

TF-2. プロジェクトの評価と選定のプロセス :

DNV は、レビューを通じて SMBC が資金調達者のトランジション実行の資金使途となるプロジェクトが、プレイブックに基づきサステナビリティ本部及び関連部門が関与したうえで選定されていることを確認しました。

また、DNV は、SMBC が、当該プロジェクトの選定に当たり資産基準、トランジション戦略基準、SMBC グループ環境・社会フレームワークの順守、与信評価、レピュテーションリスク、ファイナンスド・エミッション等のレビューの実施の予め定めたプロセス、基準に基づき、評価、選定していることを確認しました。

ただし、選定したプロジェクトの一部には、プレイブック及び関連文書で求められる資金調達者のトランジション戦略や目標設定に未確定要素が含まれていることから、トランジションファイナンスの適格性を担保するための継続的な評価・確認が必要と判断する。

以下（参考）は、プレイブックで予め定められた評価・選定プロセスの概要です。

(参考)

プロセス 1 : 資産基準 * PF、UoP

資産の適合性を内部タクソノミーに基づき、ラベリング。

「グリーン」「イエロー」「レッド」等

プロセス 2 : トランジション戦略基準 * 上記 + GCP(資金使途不特定型)を含む全てのファイナンス

チェックリストに基づき、資金調達者のトランジションファイナンス適合性について Enabler

CTF-1~CTF-4 を評価(この他に、3 つの対象区分ごとに個別に「**その他基準**」が定められて

おり、例外事項の考慮や、より詳細なプロセスの評価も実施されます)。

プロセス 3 : 「SMBC グループ 環境・社会フレームワーク」の遵守を確認。 * 全てのファイナンス

↓

トランジションファイナンス適合性評価完了 * 全てのファイナンス

(必要に応じて、プロセス 1 のラベリングを変更する場合や、何れにも含まれない場合は「その他」とする場合があります)

↓

プロセス 4 : 与信評価、レピュテーションリスク、ファイナンスド・エミッション等のレビューの実施 * 全てのファイナンス

TF-3. 調達資金の管理：

DNV は、SMBC が資金調達者の資金管理についてどのように確認しているかレビューを実施しました。

なお、プレイブックに基づくトランジションファイナンスは、現時点で実行開始段階であり、プレイブックで定められる年次での調達資金の管理結果については次回以降の定期レビューで詳細が確認される見込みです。

SMBC は、資金調達者がトランジションファイナンスとして調達した資金を、資金調達者の内部プロセスに基づき管理される手順があることを、融資前に資金調達者からの報告(文書提出又はヒアリング)により確認しています。

また、対象となるトランジションプロジェクトの合計金額は、トランジションファイナンス調達資金を下回らないように資金調達者のシステムや帳票を用いて管理され、年 1 回、SMBC に報告されることを確認しています。SMBC は、資金調達者によって調達した資金が充当されるまでの間、未充当資金と等しい額が現金又は現金同等物にて管理されることを確認する予定であることを確認しています。

いずれも、少なくとも 1 年に 1 回、融資額が全て充当されるまでの間、SMBC によりモニタリングされる予定があることを確認しました。

TF-4. レポーティング：

プレイブックに基づくトランジションファイナンスは、現時点で実行開始段階であり、プレイブックで定められる年次でのレポーティングについては次回以降の定期レビューで詳細が確認される見込みです。

なお、当該レポーティングにおいては、DNV は、資金調達者が資金充当状況、環境改善効果を SMBC に報告することを求めると共に、融資期間中において、SMBC が少なくとも 1 年に 1 回、メインスポンサーや借入人の移行戦略の変更、実施状況等をモニタリングしていることを求める予定であることを確認しています。

また、DNV は、SMBC が、TCFD レポートにおいて、トランジションファイナンスを含むサステナブル・ファイナンス等の取組の状況を毎年報告する予定であることを確認しています。

評価結果

DNV は、プレイブックをはじめとする SMBC より提供された関連文書・情報に基づく評価により、SMBC が、Enabler としてトランジションファイナンスを実行するために確立したプレイブックの要求事項に基づきプロジェクトの評価及び選定やファイナンス実行を進めていることを確認しています。ただし、選定したプロジェクトの一部には、プレイブック及び関連文書で求められる資金調達者のトランジション戦略や目標設定に未確定要素が確認されており、それらに対して SMBC が継続的にエンゲージメントやモニタリングを行うとされていることが確認されています。トランジションファイナンスの適格性を担保するための継続的な評価・確認が必要と判断する。

以上から、SMBC が Enabler として実施するトランジションファイナンスが、一部に継続的な評価・確認が必要と判断される事案があるものの、「クライメート・トランジションファイナンスが透明性と信頼性を持って実行されるために必要な投資の機会を提供する」というトランジションファイナンスの定義・目的と整合する取組が進められているということを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2024 年 4 月 11 日



前田 直樹

代表取締役社長/SCPA シニアヴァイスプレジデント
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



烏海 淳

テクニカルレビューアー
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



金留 正人

プロジェクトリーダー
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



橋本 寿士

アセッサー
DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight.

With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

Disclaimer

Responsibilities of the Management of the Issuer and the Second-Party Opinion Providers, DNV : The management of Issuer has provided the information and data used by DNV during the delivery of this review. Our statement represents an independent opinion and is intended to inform the Issuer management and other interested stakeholders in the Bond as to whether the established criteria have been met, based on the information provided to us. In our work we have relied on the information and the facts presented to us by the Issuer. DNV is not responsible for any aspect of the nominated assets referred to in this opinion and cannot be held liable if estimates, findings, opinions, or conclusions are incorrect. Thus, DNV shall not be held liable if any of the information or data provided by the Issuer's management and used as a basis for this assessment were not correct or complete

スケジュール-1 Enablerとしての資金使途特定型トランジションファイナンス適合性評価手順

- 下記のチェックリスト(GLP-1~GLP-4)は、GLP、GLGLsの要求事項を基に、SMBCのEnablerとしてのプレイブック適合性評価用に作成されたDNV評価手順です。評価作業における「確認した文書類」にはEnabler内部文書等が含まれ、SMBCからDNVに対して適合性判断の証拠として提供されています。
- スケジュール-1は慣行に従いGLPと表記していますが、ここでは、CTFH及びCTFBGに基づく資金使途を特定するトランジションファイナンス(PF及びUoP)において、トランジションプロジェクトなど資金使途を特定する資金調達の場合に参照する基準及び要求事項を含むため、適宜トランジションの文意に読み替えて下さい。
- SMBCがEnablerとして実施するトランジションファイナンスには、GCPも含まれ、これは資金調達者の事業活動に基づくトランジション戦略の実行を1つの「プロジェクト」と見なして評価しており、チェックリストにおいてはプロジェクトを、事業活動の文意に読み替えて下さい(GCPはCTFで分類されるトランジション・リンク・ファイナンスで求められる5つの要素についての管理を求めているものではなく、SPTの設定、SPTの達成に基づくトリガー判定によるファイナンス特性の設定や検証は行われません)。

GLP-1 調達資金の使途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1a	資金の種類	トランジションファイナンスの種類は資金使途特定型のトランジション・ローンとして定義される以下の種類の何れかに分類される。 <ul style="list-style-type: none"> ・(標準的) トランジション・ローン ・トランジション・レバニユーローン ・トランジション・プロジェクトローン ・その他 	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> - プレイブック - チェックリスト - TF承認案件一覧 関係者へのインタビュー	DNVは、TF承認案件一覧にてSMBCがEnablerとして実施したトランジションファイナンス18件(期間：2023年5月～2024年2月)が以下のカテゴリーに分類されていることを確認した。 <ul style="list-style-type: none"> ・(標準的)トランジション・ローン(UoP) ・トランジション・プロジェクトローン(PF) ・その他： 「その他」としてGCPが含まれている。
1b	トランジションプロジェクト分類	トランジションファイナンスにおいて肝要なのは、その調達資金がトランジションプロジェクトのために使われることであり、そのことは、ローン契約書等に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> - プレイブック - TF承認案件一覧 関係者へのインタビュー	DNVは、トランジションファイナンスが、プレイブックに記載されている通り、SMBCがEnablerとして適合性評価を行う資金調達者の環境目標、トランジション戦略の実現に焦点を当てた幅広いトランジションプロジェクトまたはGCPへの資金充当を目的としていることをTF承認案件一覧記載のプロジェクトを通じて確認した。 DNVは、TF承認案件一覧に記載のトランジションファイナンス(PF、GCP、UoP)が、トランジションファイナンスを通じて供給した資金は、その全額が1つまたは複数のトランジションプロジェクトに充当される予定であることを確認した。 DNVは、アセスメントを通じ、適合性評価が行われたプロジェクトは、トランジション適格プロジェクトとして、真に環境上の利益をもたらすことが確認されているが、選定したプロジェクトの一部には、プレイブック及び関連文書で求められる資金調達者のトランジション戦略や目標設定に未確定要素が確認されており、それらに対してSMBCが継続的にエンゲージメントやモニタリングを行うとしていることを確認した。DNVは、トラ

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
				<p>ンジションファイナンスの適格性を担保するための継続的な評価・確認が必要と判断する。</p>
1c	環境面での便益	<p>調達資金使途先となる全てのトランジションプロジェクトは明確な環境面での便益を有すべきであり、その効果は資金調達者によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> - プレイブック - 内部タクソミー - チェックリスト - TF承認案件一覧 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>TF承認案件一覧記載のトランジションプロジェクトは、資金調達者のトランジション戦略に基づく目標に貢献すると判断され、1bで示すSMBCによる適合性評価により評価された脱炭素化に資するプロジェクトである。また、GCPは、資金調達者の取組を通じ社会全体の脱炭素に適切なタイムラインで貢献することが期待されることを確認した。いずれも、環境面での便益はGHG排出量削減であり、SMBCまたは資金調達者により定量的又は定性的に評価される予定であることを確認した。</p> <p>ただし、選定したプロジェクトの一部には、プレイブック及び関連文書で求められる資金調達者のトランジション戦略や目標設定に未確定要素が確認されており、それらに対してSMBCが継続的にエンゲージメントやモニタリングを行うとしていることを確認した。DNVは、トランジションファイナンスの適格性を担保するための継続的な評価・確認が必要と判断する。</p>
1d	リファイナンスの割合	<p>調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、資金調達者は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> - プレイブック - TF承認案件一覧 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>SMBCは、選定したプロジェクト候補の1つ又は複数に対し、新規投資、リファイナンスの何れか又は両方に使用する計画について資金調達者から明示されていることを確認した。</p> <p>また、未定の場合は、レポート(年次報告)を通じて、調達資金のうちリファイナンスに充当された部分の金額を明らかにする予定であることを確認した。</p>



GLP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	<p>トランジションファイナンスを利用する Enabler 及び資金調達者はトランジションファイナンス調達資金の用途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達者が、対象となるプロジェクトが適格なトランジションプロジェクトであると判断するプロセス トランジションファイナンス調達資金の用途となるプロジェクトの適格性についての規準作成 環境面での持続可能性に係る目標 	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> プレイブック チェックリスト 内部タクソミー <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNV は、SMBC がトランジションファイナンス調達資金の用途となるプロジェクトの適格性を判断するプロセス文書（概要をプレイブック及び関連する文書の中で明記）に基づきプロジェクトが選定されていることを確認した。</p> <p>また、DNV は、SMBC が、当該プロセス文書に基づき SMBC 又は/及び資金調達者はプロジェクト実施に伴うネガティブな影響について考慮し、国や地域で定められる法令や条例が遵守されること、エクエーター原則や「SMBC グループ 環境・社会フレームワーク」に基づく評価、プレイブックや内部タクソミーを運用する中でスクリーニングが行われていることを確認した。選定したプロジェクトの一部には、プレイブック及び関連文書で求められる資金調達者のトランジション戦略や目標設定に未確定要素が確認されており、それらに対して SMBC が継続的にエンゲージメントやモニタリングを行うとしていることを確認した。DNV は、トランジションファイナンスの適格性を担保するための継続的な評価・確認が必要と判断する。</p>
2b	資金調達者の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	<p>トランジションファイナンスプロセスに関して Enabler 及び資金調達者により公表される情報には、規準、認証に加え、トランジションファイナンス原資の貸し手や Enabler は、資金調達者のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> プレイブック チェックリスト TF承認案件一覧 行内プロジェクト決済資料 <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNV は、SMBC が、トランジションプロジェクトの選定の際、資金調達者のトランジション計画が CTF に整合していることに加え、実際に資金が供給されるプロジェクトについて、資金調達者が環境関連法令、条例及び諸規則を遵守しており、ライフサイクル全体もしくは各プロセスにおいて、GHG 排出削減等の環境改善効果が明確になっていること等を考慮していることを確認した。</p> <p>DNV は、Enabler へのアセスメントを通じて、SMBC が資金調達者の実施するトランジションプロジェクトについて、資金調達者のトランジション戦略、目標及び経路と整合していることを確認した。また、資金調達者のフレームワークが明確では無かったものについては、ヒアリングを通じて資金調達者のフレームワークや環境に関連するパフォーマンスについて SMBC が確認しており、継続してフォローする旨を結論付けていることを確認した。</p>



GLP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	トランジションファイナンスによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、トランジションプロジェクトに係る資金調達者の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、資金調達者によって証明されるべきである。	確認した文書類： - プレイブック - 運用マニュアル 関係者へのインタビュー	DNVは、SMBCへのアセスメントを通じて、SMBCが、トランジションファイナンスによって供給する資金が、資金調達者の社内システム・帳票等により追跡可能であることを実際に使用されているシステム及び関連文書等にて確認を行い、これに基づき調達資金の管理状況を確認する予定であることを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	トランジションファイナンスの弁済期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類： - プレイブック - 運用マニュアル 関係者へのインタビュー	DNVは、トランジションファイナンスの実行から弁済までの期間、SMBC及び資金調達者が3aに記載する社内システム・帳票等で調達資金の残高を1年に1回レビュー予定であることを確認した。
3c	一時的な運用方法	適格性のあるトランジションプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、資金調達者は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類： - プレイブック - 運用マニュアル 関係者へのインタビュー	DNVは、SMBCが資金調達者からの説明文書等を通じて未充当資金の残高を現金又は現金同等物で管理されること確認した。 また、未充当金の残高は、資金調達者からの資金充当状況のレポート等を通じて確認する予定であることを確認した。



GLP-4 レポーティング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	<p>調達資金の用途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、資金調達者はトランジションファイナンスで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none">- 守秘義務や競争上の配慮- 各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none">- プレイブック- 運用マニュアル <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNVは、資金調達後から資金充当完了までの期間、資金調達者がSMBCまたは一般に対して、トランジションファイナンスの年次報告を実施し、資金充当状況、資金が充当されたプロジェクト又は環境改善効果に関する情報を開示予定であることを確認した。</p>